

# 年頭のごあいさつ

厚真町議会議長 河村忠治

## 自律のまちづくりを目指して

町民の皆様、明けましておめでとうございます。  
希望に満ちた輝かしい新春を、健やかに迎えのこ  
とと心からお慶び申し上げます。

日ごろから、議会に対して温かいご理解とご協力を  
賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、イチロー選手の歴史に残る快挙  
や、アテネオリンピックでの日本選手の活躍、また身  
近なところでは、駒大苫小牧高校野球部の全国制覇な  
ど、スポーツ分野での明るい話題が多かったものであり  
ますが、一方では、過去最多となった台風の上陸によ  
る風水害、新潟県中越地方の大地震など、相変わらず  
自然災害が猛威を振るった一年でもありました。犠牲  
となられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災され  
た皆さまには心からお見舞いを申し上げます。

さて、こうした中、本町におきましては、1月早々  
に猛吹雪に見舞われるなど、先行きが懸念されたもの  
の、その後天候は順調に推移し、特に夏場は近年にな  
い好天が続く、また心配された台風の影響も最小限に  
食い止められるなど、4年ぶりに豊穡の秋を迎えるこ  
とができました。

なんとと言っても、基幹産業であります農業に活気が  
生まれなければ、本町の活性化は望めません。本年の  
この成果は、天候に恵まれたことはもちろんでありま  
すが、農家の皆さんをはじめ、それを支える方々の努  
力のたまものであり、出来秋をお喜び申し上げるとと  
もに関係の皆様のご尽力に対しまして、心より感謝を  
申し上げますところでございます。

また、春先には、公共下水道浄化センターの通水式  
を皮切りに、新装なった京町保育園の開園、総合ケア  
センター「ゆくり」のオープン、さらには表町公営住  
宅への入居が始まるなど、町民の生活環境や福祉の向  
上のため大きな役割を果たす重要施設が矢継ぎ早に完  
成し供用が開始されました。

このように昨年の本町は総じてよい1年であったか  
と思いますが、我が国の社会経済情勢は、わずかなが  
ら景気回復の兆しはあるものの、まだまだ厳しい状況  
下であり、激動する国際情勢とあいまって大きな変革  
期を迎えております。

本町では昨年、議会と町長が相次いで自主・自立の  
まちづくりを宣言し、荒波に漕ぎ出す道を選択いたし  
ました。議会では、「自律のまちづくり調査特別委員会」  
を設置し、議会自らの改革はもとより、町の行財政改  
革全般にわたって現在熱い議論を闘わせております。

これと併せて本年は、新しいまちづくり総合計画の  
策定に向けて、大いに論議を高めなければならない年  
でもあります。人間性豊かな潤いと活力のある町づく  
りを目指して、町民の皆様の意思を反映するために積  
極的に取り組んでまいり所存であります。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りま  
すようお願い申し上げますとともに、町民の皆様の一  
層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年の  
ごあいさつといたします。

厚真町長 藤原正幸

## 厚真町新総合計画の最終年 さらなる飛躍をめざして頑張ります

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。  
輝かしい平成17年の新春をご健勝で迎えられたこと  
を、心からお慶び申し上げます。

平成16年を顧みますと、全国高校野球選手権大会で  
駒大苫小牧高校が優勝し、優勝旗が津軽海峡を渡ると  
いう快挙に、全道民が歓喜に沸きあがったところであ  
ります。

半面多くの台風の上陸、10月には新潟県中越地震な  
どによる災害で、多数の死傷者がでたことは誠に残念  
なことであります。

厚真町では平成16年10月17日、名誉町民である前町  
長 谷内信雄氏が亡くなられました。厚真町の偉大な  
指導者を失ったことは誠に残念であり、ここにあらた  
めて町民の皆さまとともに心から弔意を表します。

基幹産業の農業、特に水稻は6月以降の高温と晴天  
が続いたことと収穫時に上陸した台風の影響が比較的  
少なかったことにより、4年ぶりに豊穡の秋を迎えら  
れたことを心よりお慶び申し上げます。

今、厚真町では厚幌ダムの建設、国営農業用水再編  
対策事業、道営圃場整備事業、厚真川河川改修事業と  
いった大型事業が着々と進められており、これが完成  
いたしますと、水害の解消と農業生産基盤が整備され、  
農業の経営安定につながるものと確信しております。

そのためにも議会、関係機関、さらに町民と一体と  
なって早期完成に向け全力を傾注していく考えであり  
ます。

地方公共団体を取り巻く環境は、地方分権、三位一  
体改革、市町村合併、道州制の問題等かつて経験した  
ことのない厳しい状況にあります。

特に市町村合併につきましては、厚真町の将来にと  
って避けて通ることのできない課題であります。町  
民の皆さんの生活安定と幸せを考えると、当面は自  
立でいくことが最善の選択肢であると判断いたしました。

これからの町づくりは、行政と町民の皆さんが一体  
となって考え行動する協働の町づくりであります。

厳しい財政状況にありますので、今年はしっかりと  
行財政改革を進めていかなければなりません。そのた  
めには町民の皆さまにもご理解とご協力をいただくこ  
とになると思います。

平成17年は、本町の町づくりの指標である厚真町新  
総合計画の最終年にあたります。

過去の実績を検証するとともに、仕上げの年である  
との自覚を持ち行政を執行していく決意であります。

結びになりますが、本年も町民各位のご協力とご支  
援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さ  
まの一層のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の  
ごあいさつといたします。

